

令和4年度 行政評価の取組結果（危機管理室）

【Plan】 計画		【Do】 実施		【Check】 評価										【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)							
II-1-(4)-① 危機管理 対応能力の 向上	1	⑬ ⑰	防災訓練の実 施	危機 管理 課	風水害、地震等 の大規模災害時 における防災体制 について万全を期す ため、災害に対す る各種訓練を実施 する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年 度)	目標	3,000 人	3,000 人	3,000人 (毎年 度)	2,915	10,697	8,250	11,050	遅れ	新型コロナウイルス感染症 拡大防止の観点から参加人数 を制限し訓練を実施した。こ れにより、訓練参加人数が目 標数まで達しなかったため、 「遅れ」と判断。	順調	【評価理由】 実施に向けた計画・調整は 万全に行われており、訓練の 目的は概ね達成できているた め、「順調」と判断。  【課題】 行政評価に係る市民アン ケート調査結果から、防災訓 練の認知度が向上しているこ とがわかる。 防災訓練が市民の災害対応 等に活用されるよう、市民の 関心やニーズに沿った訓練の 実施が必要である。	危機管理能力を向上させる ため、多様な防災訓練を継続 して実施する。
						実績	767 人	1,021 人												
						達成率	25.6 %	34.0 %												
II-1-(4)-② 災害に 関する 情報提 供と自 助、共 助の意 識づく り	2	⑬ ⑰	みんな de Bousai ま ちづくり 推進事 業	危機 管理 課	過去の大规模災 害では、自助・共 助の力を向上させ ることが「減災」 対策を推進する上 でも必要不可欠で あることが証明さ れた。 また、「北九州 市地域防災計画見 直し検討会」の中 でも、地域コミュ ニティが持つ防災 力＝「地域防災 力」の重要性が指 摘された。 これらのことか ら、市民が自ら 「命を守りぬく」 ことができる自 助・共助の力を向 上させるととも に、地域防災力の 育成及び活性化を 推進する。	地域コミュニティ が主体となって防 災ネットワークを 構築し、作成した 地区防災計画策定 数	4地区 (H26年 度)	目標	15 地区	15 地区	8地区 (R5年 度以 降毎 年度)	4,968	11,443	5,191	8,050	大変 順調	地域コミュニティが主体と なって防災ネットワークを構 築し、作成した地区防災計画 策定数は地域での防災会議開 催を重ねることで防災ネット ワークが構築されることを目 的としている。 しかし、令和4年度は令和3 年度と同様に新型コロナウイ ルス感染症の影響により、予 定通りに事業実施ができな かった。 一方で、「地域防災の新た な担い手を育成した人数」に ついては、大学のオンライン 設備の活用などにより、令和 3年度に引き続き目標を大き く上回り、130人の大学生が 参加したことから総合的に 「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 みんな de Bousai まちづ くり推進事業について、新型 コロナウイルス感染症の影響 から、地区防災計画策定数は 目標に届かなかった。一方 で、地域防災を担う人材の育 成は目標数を達成しているこ と、地域と連携した避難所開 設・運営事業についても、合 計実施校区数が増加傾向のた め、「順調」と判断。  【課題】 行政評価に係る市民アン ケート調査では、自然災害に 備えて事前に何らかの準備等 をしている市民の割合が 87.0%（前年82.9%）に向上 している。 災害に関する情報提供と自 助、共助の意識づくりに向け た取組を今後も継続していく ことが必要。	自助、共助の意識づくりの ため、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」の取組 を継続して実施する。 令和3年度から、北九州 SDGsクラブに加盟する企業・ 団体と協働して、「SDGs防災 サポート」事業を展開してい る。当事業は、小学校区単位 を基本とした従前のみんな de Bousai まちづくり推進事 業に加え、小規模単位（マン ション、町内会）で実施され る地区防災会議の支援を可能 としている。 小学校区単位及び小規模単 位での地区防災会議支援を柱 として事業を実施していく。 地域と連携した避難所開 設・運営事業については、モ デル事業3年目を迎え、令和6 年度に向けて、引き続き円滑 な避難所開設・運営を行うた め、地域の声を取り入れなが らの事業設計を見直す。
						※中期目標改訂 (R5年度目標設定 時)	2 地区	4 地区												
						達成率	13.3 %	26.7 %												
	3	⑬ ⑰	地域と連携し た避難所開 設・運営事 業	危機 管理 課	大雨や台風など によって災害が発 生するおそれが高 まり、予定避難所 を開設する際に、 避難所の開設と運 営を住民と連携し て行う事業を実施 する。	避難所の開設と運 営を住民と連携し て行う箇所数	14箇所 (R3年 度)	目標	14 箇所	30 箇所	98箇所 (R8年 度)	2,876	12,100	5,765	11,050	順調	実施校区が令和3年度より 増加していること、当初の目 標に対して概ね達成している ことから、「順調」と判断。	順調		
						実績	14 箇所	29 箇所												
						達成率	100.0 %	96.7 %												